

WHO'S WHO 活動報告 2024年9月~2025年2月

2024年 9月 10月

9月は猛暑のため体調管理を優先し、10月はメンバーの1人が体調不良のため集まりを中止しました。ただし、LINEによる交流はいつものように活発でした！

11月 喫茶店での会合

メンバーの1人が発熱したため、急遽2人で喫茶店に集まりました。また、生成AIに作成してもらったWho's Whoのプロフィール画像を変更しました。この画像はメンバー全員がとても気に入っています。

生成AI、
流石です



12月 東京ステーションギャラリー（テレンス・コンラン モダン・フリテンをデザインする） 東京駅探検 クリスマスイルミネーション

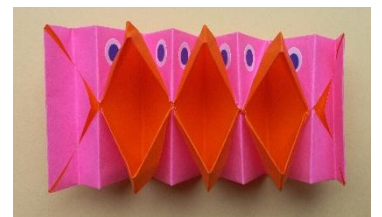
メンバーの急用により日にちを調整したが2人での参加となりました。解説書によると、テレス・コンランは第二次大戦後のイギリスで若者文化が花開いた時代に、現代イギリスの生活文化を大きく変えた人物と紹介されています。会場ではモダンなデザインの家具やパターン化された模様の食器や布などのインテリアが目を引き、レストラン事業、書籍など多彩な才能に感心しました。

夕方になるのを待つ間、東京駅に文字盤がすべて「0」になっている珍しい時計があるという話を聞き、グラスタ地下1階にあるのを見つけました。この場所は、鉄道の起点となる「ゼロスクエア」で普段は待合スペースとなっているが、時節柄クリスマスケーキのショップになっていました。そのあと、ビルの見事なクリスマスツリーや丸の内中通りイルミネーションを楽しみました。

ここで、ちょっと耳寄りなお話です。メンバーさんが作った折り紙の作品を、区のゆめりあホールで行われたクリスマス会に参加した子供たちにプレゼントしたところ、大好評だったそうです。



パクパクと
👉が動く
折り紙



今年の丸ビルは
マリオブラザーズ
毎年テーマが変わ
ります



2025年1月 ちひろ美術館・東京

今月は久しぶりに3人でちひろ美術館を訪れて、すっかり童心に戻りちひろの世界を楽しみました。この美術館は、いわさきちひろの自宅兼アトリエに建てられた、世界で最初の絵本美術館です。去年はちひろ没後50年、ゆかりの出版社で未発表の原画32点が見つかっています。ぼかしなどの技法を使った柔らかな色調の、あどけないこどもの水彩画は、青春時代に戦争を体験し子育てをしながら画家として絵本を描き上げた、ちひろの思いが伝わってくるようです。

愛用のソファ



マイクに近づき色々な声を出すと、キレイな色の面白い形が現れます



2月 湯島天神梅まつり 麟祥院

今月から素敵な仲間が一人増え、新しい仲間とともに梅まつりを楽しみました。湯島天神は江戸時代から梅の名所として有名です。好天にめぐまれ暖かくて気持ちがよく、良い香りがする紅梅や白梅を鑑賞しました。また湯島天神は学問の神様としても有名で、合格祈願のたくさんの絵馬と梅とのコントラストに趣がありました。ちょうど大道芸をやっており、大空のもとで猿回しや曲芸のパフォーマンスを間近で楽しみました。

帰り道で、春日局の像をみつけて傍によると「春日局終焉之地」とのこと、早速に麟祥院というお寺に入りました。うっそうとして歴史を感じる敷地の奥に、墓石に穴が開いた珍しい形の春日局のお墓がありました。帰宅後にネットで調べると、穴が開いている理由は「死して後も天下の政道を見守り之を直していかれるよう黄泉から見通せる墓を作ってほしい」と、春日局の遺言によることが解りました。また、明治20年には麟祥院に東洋大学の前身である「哲学館」が創立されたそうです。麟祥院の知識は持ち合わせてはなかったので、思いがけず「得をした」気分になりました。帰る途中では、いつも通り喫茶店に寄りケーキとコーヒーを戴きながら話に花が咲き、時間が経ったことに気が付きませんでした。



絵馬の字は、どれも上手で感心しました



満開の梅、良い香りがします

